

AX2500/AX2000HL うるう秒調整時に装置再起動が発生するケースについて

平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

首記の件、ロードバランサ AX2500/AX2000HL にてうるう秒調整時に装置再起動が発生する可能性があることが判明しています。前回のうるう秒調整時と同様に事前の対策を実施いただきますようお願い申し上げます。

1．現象

NTP を使用して時刻同期を行っている時、うるう秒調整時(2015年7月1日 午前8時59分60秒)に装置が再起動する場合があります。なお、再起動が発生すると通信断となりますが、約3分で自動復旧し通信を再開します。

2．原因

ロードバランサソフトウェアの不具合です。

NTP を使用して時刻同期をおこなっている場合、うるう秒挿入の際に内部処理の不整合が発生し、再起動に至る場合があります。

3．発生条件

ロードバランサに NTP サーバとの時刻同期機能を設定している場合に現象が発生する場合があります。

4．対象装置・対象ソフトウェアバージョン

- ・ AX2000 (形名: K-A10AX2KLBSTD、K-A10AX2KLBGNR)
ソフトウェア Version 2.4.3-p11 以前
- ・ AX2000HL (形名: K-A10AX2KLBLTD)
ソフトウェア Version 2.4-3-p11 以前
- ・ AX2500 (形名: GQ-LBAX02500NNN)
ソフトウェア Version 2.4.3-p11 以前

上記バージョンは既にサポートを終了していますので、最新バージョンの適用をお願いします。なお、2012年7月以降に納入された装置につきましては、不具合が修正されたソフトウェアで出荷されているため、対象外となります。

5．対策

(1) 回避策

うるう秒調整時前にロードバランサの NTP 機能を無効化していただくことで、現象発生を回避できます。

うるう秒調整時経過後は、NTP 機能を再度有効化していただきますようお願いいたします。

注意：上記無効化はうるう秒挿入の30分前までに完了いただきますようお願いいたします。

(2) 本対策

前回(2012年7月1日 午前8時59分60秒)のうるう秒調整時に不具合を修正したソフトウェアはリリース済みです。

(3) 対策方法

対象装置で対象ソフトウェアバージョンをご使用の場合は、(1)回避策にて現象発生を回避してください。

6 . NTP 同期有効/無効確認手順および NTP 同期有効化/無効化手順
別紙「AX2500/AX2000HL NTP サーバ同期設定無効化手順書」をご参照ください。

7 . 本件に関する問い合わせ先
a10-info@ml.itg.hitachi.co.jp

以上